

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
図画工作科教育法	講義	2	佐藤 有紀
<b>【授業のテーマ及び到達目標】</b>			
<p>小学校図画工作科の担う役割・目標を理解しその指導に必要な基礎的知識・技能を習得する。美術教育の歴史や子どもの絵の表現と発達段階についての概要を理解し、学習指導要領と評価について理解を深める。図画工作に必要な基礎的知識、技能についての理解を深めると同時に指導案の作成方法を理解し、実践的な指導力を身につける。</p>			
<b>【授業の概要】</b>			
<p>テキストを用いた講義により図画工作科の歴史と現代の生活の中で担う役割を理解し、子どもたちの思考力、創造力を培うことができる授業をつくる方法を学ぶ。また演習により子どもの発達に応じた表現やその多様性を理解し、作品をみる力を身につける。また作品鑑賞の目的で学外授業を実施する。</p>			
<b>【全体の授業計画・内容】</b>			
1. ガイダンス			
2. 美術教育の役割と歴史			
3. 教材研究①絵画表現(画材について)			
4. 教材研究②絵画表現(色彩について)			
5. 指導計画作成について			
6. 教材研究③デザイン表現			
7. 教材研究④立体表現			
8. 指導案作成と内容について			
9. 模擬授業①平面			
10. 模擬授業②版			
11. 模擬授業③立体			
12. 模擬授業④造形あそび			
13. 鑑賞教育について①観ること			
14. 鑑賞教育について②対話			
15. まとめ			
<b>【準備学習の内容】</b>			
予習のあり方:図画工作に関する事前の調査。			
学習のあり方:造形活動、研究に積極的に参加し授業の展開方法を学ぶ。			
復習のあり方:授業の活動を記録し教育者の視点を持ち内容を振り返る。			
<b>【成績評価】</b>			
提出物(50%) 授業態度 (50%)			
<b>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】</b>			
作品、また指導案による模擬授業に対しての寸評によるアドバイスをを行う。			
<b>【テキスト】</b>			
小学校学習指導要領解説 図画工作編			
<b>【参考文献】</b>			
授業時に紹介する。			